

ICTを用いた小児医療人材育成プログラムの開発

キーワード

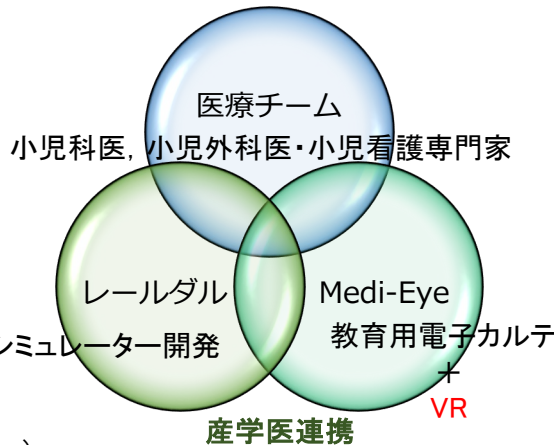
ICT, 小児医療, 人材育成, 高性能シュミレーター, シミュレーション教育

研究背景

- 小児専門医療施設では、各領域の専門家がいますが、多くの病院では、小児科医の数は限られている。
- 成人に比べて小児人口は少なく、地域や施設によっては小児科医としての経験、看護師の経験も限られている。
- 小児診療の特徴は、疾病の診断・治療とともに総合的に成長・発達を診ていくところにあり、成人に用いる問診や診察技術、看護技術だけでは小児に対応することは難しい。
- 小児の入院の70%以上は小児病棟ではなく、混合病棟に入院している現状がある。

**小児の主要な症状・徴候・疾患のポイント・治療・看護について十分な基本的知識と技術が必要
小児医療に携わる医療者のトレーニングが急務**

研究概要



- ❖ シミュレータなどの製品をどうすれば最大限に活用できるのか
- ❖ OJT/継続教育のためにはどのようなツールやシナリオが必要か
- ❖ トレーニングの場をどう確保するか

アピールPoint

- 最新の小児の高機能シュミレーターが揃っている県内唯一の施設である
- 県立はりま姫路総合医療センター看護部, 小児科との協働による教育ツールの開発, 実践・評価ができる
- 本研究所での異分野交流と産学医連携により遠隔シュミレーション教育が実現できる



小児医療の専門家

相談・教育



ICTを用いて遠隔で実施



在宅医療



医療機関・医療者

人材育成するための教育プログラム開発



プログラムの実施と評価

